



戰史資料

輜重兵第六聯隊(沖繩果實台島)

陸軍大尉 大森 弘

一 編成裝備關係

1. 自己部隊承領部隊編成人員 1 兵器彈藥

(4) 編成人員

輜重兵第六聯隊

臨時編成下令後戰時編成的 180 名

ヲ以テ釜山ニ集結スルニ由リテ改編

約 300 名ヲ以テ宮古島ニ向テ

陸上勤務隊 一中隊

約 200 名

水上勤務隊 一中隊

約 300 名

船中勤務隊 一中隊

約 400 名

獨立自動車隊 四中隊

約 400 名

1/9

海軍戰艦船廠空移動修理班 約六〇名

船舶輸送司令部管轄張所 約四〇名

特設飛行場航空隊(一〇九)解散 本部 約一〇名

轉重八隊改為中隊 約四〇名

特設飛行場航空隊 約六〇名

特設整備工兵隊 約八〇名

戰車一隊 約一〇名

2. 職員表 別紙通

3. 人員兵器等增減關係

加一事項參照

終戰後現在迄、戰傷病死者計一九名

兵器肉保

九九式輕機関銃

短小銃

約五二八

(上陸後一增入合)

陸軍

三九式輪車車甲

二九六

三六式輪車戰馬具

二六〇

一四三式束馬具

五四

降校束馬具

二六

自動貨車

一〇一

東甲車

三

修理車

六

小銃實包

二五五五〇〇

拳銃

二八八〇

手榴彈

九一〇

發煙筒

(大) 四〇〇  
(小) 一八〇〇

九四式五号下型無線機

三

(中二略二〇六項減)



昭和二十年八月三日 大東亞戰爭終結國之大詔要發

三 指揮隷屬關係其支遣之概要

指揮下部隊

陸上勤務力二〇一中隊

水上勤務力一〇一中隊

獨立自動車力一〇四中隊

船舶工兵力三聯隊

六野戰船舶廠力三移動修理班

船舶輸送司令部管官船隻

隷屬關係支遣之

四 作戰準備關係

1. 防禦方針 防禦配備 別紙要圖、如左

2. 陣地、火力

3. 竣工時期 昭和二十年月中旬

所要人員 一中隊約六〇名

部隊總員約二五〇名(日軍內所要人員)

(但七大隊之兵站、砲台、揚子江、揚子江、揚子江)

附屬構築(從軍中)

十字鐵、丹野、黃毛、菜、了、了

四月下旬

標息用機敵壕、人員兵器及家、但

以完成

手、控接蓋

交通壕、工事程度完成

4/9

障得物之製作と修理の取組

因攻壕似人射壕之完成

敵攻壕之依破壊神修之

攻壕之依破壊也

攻壕施設 関係也

飛行場施設

修定成ス

3 3 作戦準備に關する命令の内容

(1) 偽裝、完成神修(一月下旬)

(2) 因攻壕之整備に關する命令

(3) 棲息用洞窟整備(二月下旬)

(4) 小銃校習整備に關する命令(三月下旬)了

(下達より約一月で完成)

但し交通壕之趣不取敢以中令之兩後末期に於て

陸軍

完成之命令

5 障得物製作

創設之兵器製作に關する命令

四月下旬

6 砲後、壕之神修整備

交通壕、壕之完成神修に關する命令

7 甲隊第一連隊に關する命令

8 軍需品之準備状況

9 1 次

司令部平定是揚塔機を二月に櫻林潭

10 2 次

某、各官舎に分敷秘匿、延五〇〇車輪

11 3 次

以降、逐次空襲に向隨、種々の輸送且

陸軍附近停滯食物に月上旬迄、完全各陣地

二分敷ス

現地自若ノ状況

自若揚塔機ヲ設計圖のニ實施ス、主として甘藷ヲ栽培八月

下旬に於て一人當六畝ヲ耕作ス、到ルニ甘藷之依給養

保持困難ナリ

(我艦不良燃料不足土庫不良等) 出動中(修理中)

其他野茶類(若干) 数箱

服(飼養)状況良好(若干) 的百(十) 鐘(有) (一人一日(若干))

補給輸送ニ於テ船(損) 損壊状況

港内ニ於テ三隻沈没

6. 訓練状況

陣地構築、傍ヲ訓練日(旬)ニ回設テ主(ト)テ肉攻

推進切(シ) 射撃ノ三項目ニ重点ヲ置キ訓練ス

砲台 部隊長(実施) (一)回

集団(長) 実施(若干) (一)回

其他一週(間)連続訓練日ヲ設テ夜間ヲ利用(或) 並(向)ヲ

利用(シ)テ之(可)徹底(ス)

陸軍

五. 戦中状況

一. 参加(シ)主要(ナル)作戦概況

天(一)号作戦(略) (一〇、三、三〇—三、三〇)

連日未(だ)敵機(ハ)飛行場(ニ)強行補修(ヲ)命(ジ)シ自動(車)

ヲ以テ操(縦)下(リ)揚(子)路(等)ヲ補修(シ)沖(根)附近(ニ)攻(撃)特(攻)機(ノ)行

動(機) (一)回

二. 特(務)部隊(未) 概況

略(一)九、一〇、一〇、以(テ)米(村)島(部隊)ヨリ(シ)艦(載)機(ノ)及(重)ヲ受(テ)米(村)島(部隊)

ノ外(英)ノ特(務)部隊(ヨリ)空(襲)ヲ受(ケ)シ、高(空)略(一〇、三、三〇、三、三〇、英)

艦隊(ノ)艦(砲)射(撃) (四、五、三〇、略) (主(ト)シテ)此(レ)以(テ)揚(子)路(間) (一)回

三. 敵(特)未(だ) 概況

「(一)期(目) (略) (一〇、三、三〇) (一)回」ヲ以(テ)強(行)偵(察)機(體)程(度)未(だ) 概況(ニ

シテ)特(務)機(ノ)主(ト)シテ飛(行)場(場)捕(獲)自(標) (一)回 (一〇、三、三〇)

日(一)降(雨) (略) (一)回 (一〇、三、三〇)





活津を行動ノ我ニ多量ノ糧林携行ヲ許サカク 進駐後  
 我ニ手ハこゝ仕勢ハ飛行場ノ急遽設定陣地構築ヲ急激ニ行  
 カリ 將ニ昼夜兼行ヲ業チアリニガ遂行ノ多ニ午後ノ神給無ク決  
 ニラテ定置以上ノ給養ヲメカケタリ ニ三月三日概不防宇野方  
 フ備ルニ以啗ヲ携行ニ糧林ノ半減シ加ニ糧ノ弊甚クシ  
 主食ニシテカリーニ〇〇前後ナリシニ 動物性蛋白質ノ神給全ク無ク  
 青鮮ノ神給ノ野草ヲ主トシテ 轉運隊トシテ陣地構築以外ニ断  
 ノ輸送ニ追ヒ常ニ高調ナリト 自若ハ寸指モ觸ル能ハズナリ  
 斯ノ頃既ニ中絶戦ノ開始セシ今時ノ瀕ニナリシ空襲ハ集積  
 所ノ爆破 或ニ之ニ對シ洞窟内ニ格納シ糧林等備ノ損傷  
 等ニ依リ保有糧林ハ益々減少シ更ニ主食四〇〇から三〇〇ナリ  
 ト引下ケ副食ノ野草ノ地味ハ多ク 貝等ヲ主トシ米只ノ上  
 陸ハ備ヘテ更ニ常時在空中米村ノ下ニ自若作業又  
 進駐ヲ見ス給養ノ低トハ急速ヲ加ヘテリ 斯ノ状況ニ於テ

陸軍

中絶ノ敗戦ノ引續テ終戦トナリシモ神給ノ更ニ無ク空襲ノ  
 タノ島ノ主食ノ支障ノ甚甚不眠ノ自若ノ続テラレモ一朝  
 一旦ノ收獲ノ不固ノ加ニ復員ノ時技不明ノ絶望的暗寫ヲ為シ  
 ナリト 文京通ノ糧林ノ生命維持ノ藥品トシテ創製  
 等見ニ依リ糧ノ定置ヲ得保テ続テラレタリ  
 衛生  
 戦地戦ニ至リ戦下ノ將ニ更ニ言ハルニ常ニ身道ニ迫リ不見ノ敵  
 昨日迄戦下ヲ来タリタル 各種ノ事情ヨリ何州ヨリ上陸  
 地近同余ノ輸送生ヲ送り至極窮乏ニナリシニ更ニチチナ  
 シトシテ不食ノ給養ノ下ニ行ハタ昼夜兼行ノ輸送ノ  
 地構築ノ以場設定ヲアテ 火ヲ見ヨリモ明カニ マラシマ  
 ナリノ慮ヲシテ余ヲ許サズ未ダ者ニ疎ニ島ノニ屋頂ノ  
 下ニヤ地帯ノ富貴ニ我部隊ノ難地ノ至難者ヲ部隊長  
 上ノ各種工作ノ教育ニカ全ク斯ノハク 新外ニモ作戦任務

ハ繁敷多仕ハ之ヲ分ニ遂行スルニ余裕ヲ与ハス部隊ノ半  
以上ノ兵者ヲ出シルニ状況ナリ 当然ノ結果トシテ勤勞ハ  
繁化トシテ兵士不離不分ノ關係ヲ有ス給養ハ低下シ此  
外ニ生理及ニ現狀維持ハ万全トスル程度ニ至リ 三三三  
者ハ回復スルニ向カハ低下ノ途ナリ 冲線戰ハ人ハ戦力ハ  
相劣低トナリシテ 亦栄養失調 各種皮膚病 葛文症  
モ日々増大ス一方テアリ

大 陸 軍 一 復 原 行 動

一 兵器 九ノ初旬ヨリ自隊ハ兵器(自動車・馬車)  
車・馬車(小銃)ヲ奪得シ 官舎各部隊ハ兵器(馬車)ヲ  
協力シ九月下旬迄ナリ

一 特殊特別教育

一 復原后新日本建設中核タル官舎並ニ常一隊ノ向テ  
國ハノ勸業防ニ於テハ地ヨリ講習ヲ進シテモ精神  
教育 農林 政治 物理化学 思想 宗教等ノ上ハ初め  
實施ス

一 ト士官兵教育

一 復原后直ニ生業ニ就カシ敗戦日本ノ再生ノ中核タルトシテ官舎  
向上ヲ図ルニ各中隊長之ヲ担任シ精神教育ニ重ク  
置テ自若作業ニ併行シ農林業全般ノ知識ヲ附与シ  
終戦ヨリ官舎並ニ常一隊迄實施ス





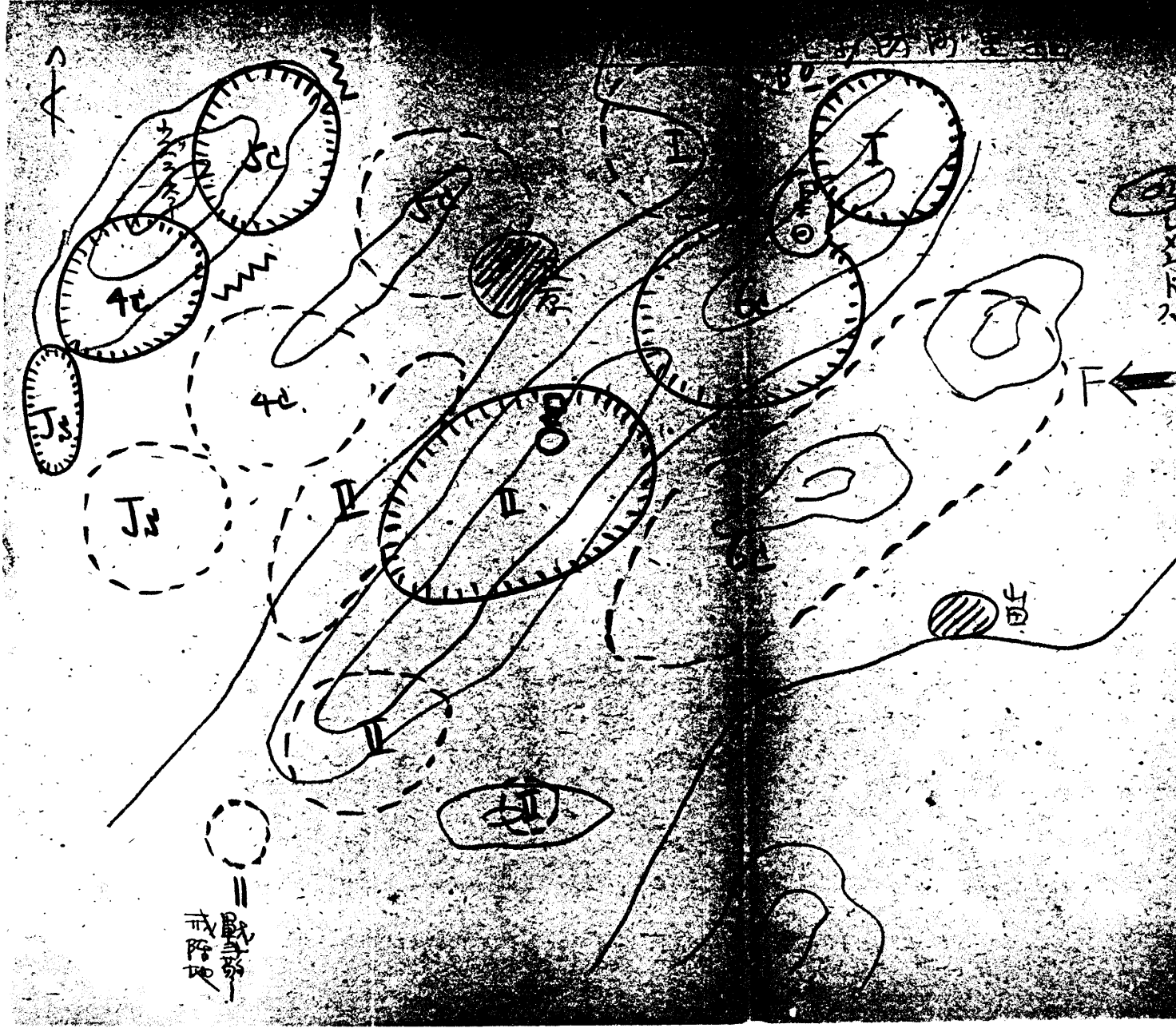




方針 萬嶺ヲ據点トシテ最後迄堅持シ其ノ前方ヲ  
 遊軍地帯トシテ戰斗警戒部隊ノ短切ニ行動  
 依リ敵ヲ此ノ地域ニ拘束シ集團ノ作戦上ニ余裕  
 〇シキトス

方針 萬嶺ヲ據点トシテ最後迄堅持シ其ノ前方ヲ  
 遊軍地帯トシテ戰斗警戒部隊ノ短切ニ行動  
 依リ敵ヲ此ノ地域ニ拘束シ集團ノ作戦上ニ余裕  
 〇シキトス





方針 鶴嶺ヲ據兵トシテ最後迄堅持シ其ノ前方ヲ  
 監視シテ敵トシテ戰ヲ警戒部隊ノ短切ニ行動  
 後敵ヲ此ノ地域ニ拘束シ集団ノ作戦上ニ余裕  
 生ラセヨトス

○ = 敵隊  
 ● = 我隊